

1. 活動内容(報告)

◆ **コンタクトレンズ関係(令和4年度)**

○YouTube 動画「あなたのコンタクトレンズは大丈夫？」(ショート版) 改訂  
動画DVDを大阪府医師会(郡市区医師会)、大阪府薬剤師会に提供

○啓発資料を集約した一覧ホームページを作成

パンフレット、スライド、動画、保健だより、教育者向け資料

[事務局]

○**コンタクトレンズ適正使用に関するアンケート調査**

(教育現場での指導状況、啓発に有用な媒体の把握)

- < 対 象 > 大阪府内の府立高等学校及び高等部を設置している支援学校 (177 校)
- < 実施期間 > 令和4年8月1日~同月31日
- < 調査方法 > WEB
- < 回答状況 > 123 校 (回答率 69.49%)

指導の実施頻度 (校)		指導方法 (校)		生徒向けの啓発に使いやすい媒体 (校)	
1年に数回	19 (15.4%)	個別指導	77 (78.6%)	パンフレット・スライド	90 (73.1%)
1年に1回	13 (10.6%)	配布資料	36 (36.7%)	保健だより	82 (66.7%)
不定期	66 (53.7%)	授業	1 (1.0%)	YouTube 動画	77 (62.3%)
機会なし	25 (20.3%)	その他	6 (6.1%)	教育者向け資料	26 (21.1%)

※指導実績がある98校からの回答 ※複数回答  
※複数回答

<まとめ>

- ・コンタクトレンズ適正使用のための指導は、約8割の学校で実施されていた。
- ・指導方法としては、個別指導が最も多く、次いで配布資料であった。
- ・啓発資料としては、パンフレット・スライドなどの配布が容易な媒体が好評であった。

2. 今後の活動内容(予定)

◆ **人工呼吸器関係**

【背景】

令和元年度

8月 第1回部会

全国の医療機関における医療機器に関連するヒヤリ・ハット事例において、  
最多である人工呼吸器をテーマとし、事例の分析(①)を行うことを決定。

10月 臨床工学技士会主催の講習会参加者を対象に、府が人工呼吸器の使用状況調査(②)  
を実施

12月 第2回部会

①及び②を反映した「ヒヤリ・ハット事例に学ぶ人工呼吸器の安全対策」を  
作成。

また、上記②では対象者が限られていたことから、府内全体の状況把握のため、  
改めて各医療機関へ調査を行うこと、などの方針決定。

2月 府内病院の医療機器安全管理責任者に「ヒヤリ・ハット事例に学ぶ人工呼吸器の安  
全対策」周知。

令和2年度以降

アンケート対象・項目等を検討したが、新型コロナウイルス感染症の拡大等の影  
響により、部会未開催、調査未実施。

改めて部会での審議を経たうえで、医療機器を安全に使用していただくため、  
啓発を兼ねたアンケート調査を実施し、その結果を踏まえた取組みを行う。

案：人工呼吸器に関連する機器を併用した安全対策、点検、  
医療機器の医療安全情報の収集など

◆ **コンタクトレンズ関係**

府が作成した啓発資料を活用し、継続して啓発を実施する。

3. 委員名簿

■ **医療機器安全対策推進部会** (敬称略)

おおひら しんじ 大平 真司	(一社)大阪府医師会	なかた せいぞう 中田 精三(★)	市立伊丹病院
おおみち みちひろ 大道 道大	(一社)大阪府私立病院協会	はじり まさのり 羽尻 昌功	(一社)大阪府薬剤師会
かんばやし たかこ 上林 孝子	(公社)大阪府看護協会	ひらた まさたか 平田 全孝	(一社)大阪医療機器協会
きの まさや 木野 昌也	(一社)大阪府病院協会	むらなか ひでき 村中 秀樹	(一社)大阪府臨床工学技士会
たなか かずひろ 田中 一弘	(一社)大阪府歯科医師会	★：部会長	

■ **ワーキンググループ委員(人工呼吸器関係)** (敬称略)

たけもと さと子 竹本 さと子	(公社)大阪府看護協会	ふじえ たつろう 藤江 建朗	(一社)大阪府臨床工学技士会
なかむら とおる 中村 徹	日本光電工業(株)	むらなか ひでき 村中 秀樹(☆)	(一社)大阪府臨床工学技士会
ひろさね たかよし 廣實 隆芳	フクダライフテック関西(株)		

☆：委員長